

県と市町村、また、市町村間において職員交流が盛んに行われています。

今回は、市町村から県へ派遣され活躍している皆さんに登場していただき、近況を紹介していただきました。



健康長寿推進課
主事

今井 里枝
(甲斐市)

令和5年4月より甲斐市から交流派遣職員として健康長寿推進課にお世話になっております。

配属当初は、慣れない環境や業務に緊張の毎日でしたが、介護サービス振興担当の皆様の温かいご指導やご助言のおかげで、少しずつ仕事にも慣れ、日々業務に取り組んでいます。

私は健康長寿推進課の介護サービス振興担当として、主に介護保険施設の指導や、主任介護支援専門員の研修等を担当しております。4月当初は、初めて施設サービスの業務に携わるため、運営基準や介護報酬等の問い合わせ対応において、回答に時間がかかり、施設や市町村のご担当者様にはご迷惑をおかけしてしまったと思います。自分の知識や理解の不足を痛感しつつ、法令や告示・通知の解釈書籍をもとに、勉強する日々を送りながら、何とか業務を進めて参りました。また、主任介護支援専門員の研修業務では、受講要件の確認等、介護サービスを支えてくださる方の資格に関わることのため、緊張感をもって取り組んでいます。

県内でも高齢化が進む中で、介護サービスにおいては、様々な課題があり、さらに制度改正が行われる等、柔軟に対応する力が常に求められていると思います。

今回の派遣を通して、少しでも多くの知識を吸収し、県職員の方々との交流を大切にしながら、広い視野をもって業務に励んでいきたいと思っております。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださった甲斐市役所の皆様、日頃から指導及び助言をいただいている職員の皆様に心から感謝申し上げます。



耕地課
主査

小林 直樹
(市川三郷町)

令和5年4月より、市川三郷町からの交流派遣職員として山梨県農政部耕地課にお世話になっております。

私は主に、土地改良区等の設立や解散、運営に関わる指導監督事務、農地防災事業、災害復旧事業などの国庫補助金交付事務、用地買収・補償関係に関する業務に携わらせて頂いております。

当初は、慣れない県庁のシステムや職場環境の変化、業務の進め方の違いに戸惑いや不安もありましたが、周囲の方々の温かいご指導とサポートに支えられ、おかげさまで充実した毎日を送っています。

配属された当初、土地改良法に関する指導等助言を担当する者として、関係機関から問合せがあった際、私が知識を持ち合わせていない中、助言をしなければならず困惑したことがありました。その際は、代わりに課内の皆様に説明して頂き、その的確な知識と経験に感嘆したことがありました。

町の業務においては、その分野を広く浅く手がけることが多かったのですが、県の業務においては、根拠法令を深く理解し責任を持って他者に説明することのスキルを身につける重要性を改めて実感しました。

短い派遣期間ですが、こうした県の業務スキルや人間関係から多くを学べることは、自分にとって貴重な経験になると思うとこれからの業務の励みになっています。

市川三郷町に戻った際は、この貴重な経験を業務に限らず、他の職員にも還元できるようにしたいと思います。

最後になりますが、このような貴重な機会をいただきました市川三郷町の皆様、また日頃からお世話になっております耕地課の皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻いただきますよう、よろしくお願いいたします。



中北建設事務所峡北支所
技師

岡見 容嗣
(北杜市)

令和5年4月より北杜市から交流派遣職員として中北建設事務所峡北支所河川砂防課にお世話になっております。

4月当初は、職場環境の変化や事務手順等の違いに戸惑うばかりでしたが、事務所の皆様の親切なご指導とサポートにより、今では緊張感をもちながらも充実した日々を送っています。

私は河川砂防管理課河川砂防担当として、北杜市、韮崎市の治水事業及び砂防事業を行っております。主に一級河川の改良工事及び砂防工事、急傾斜地崩壊対策工事、各種委託業務等の業務を担当しています。中でも、北杜市内での河川改良工事、砂防工事、急傾斜地崩壊対策工事等は市の職員として接してきた地域を担当するということもあり、とてもやりがいを感じながら業務をさせていただいております。

今まで経験したことのない業務ですが、日々新しい知識と出会うこと、なかなか経験のできない規模の大きな事業に携わることはとても貴重であり、その経験の全てが私の成長に繋がると感じております。

また、出向中には技術的なスキルアップだけでなく、県職員の方々と積極的に関わり、人との縁を大切にしていきたいと考えています。北杜市へ戻ったあとも、その繋がりを活かせるよう、今後の業務に励んでいきたいと思っております。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださった北杜市役所の皆様、私を快く受け入れていただいた事務所の方々に心から感謝申し上げますとともに、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

がんばってしま～す。 Fight!

Vol.55 March.2024



峡南建設事務所身延支所
技師

保坂 龍哉
(早川町)

令和5年4月から早川町から、派遣職員として、峡南建設事務所 身延支所 道路課 道路担当としてお世話になっております。4月から主に早川町、身延町の県道に関する業務を行っております。異動して最初は、環境や仕事内容、システムなどが違うため業務が思うように進みませんでした。周りの心強い方々の助けにより、頑張っています。

早川町と身延町をつなぐ県道南アルプス公園線は雨量規制に達してしまうと出入りが出来なくなってしまうため、とても不便であり、工事を急いで発注しております。誰もが安心・安全に通行できる道路にしたいと思っております。早川町とは業務内容が違い、覚えるのが大変ですが日々努力をしています。

山梨県として仕事ができるので、早川町を客観的にみることで、新たな発見ができたり、普段では気付かないことを気付いたりするなど、自分自身の成長に繋がると考えております。山梨県で学んだことを、早川町の業務に活かせるようにしたいと思っております。

最後になりますが、日頃からお世話になっております、峡南建設事務所身延支所の皆様とこのような機会を与えてくださった早川町役場の皆様に、心から感謝を申し上げ、まだまだ未熟でご迷惑をかけることもありますが、頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



市町村課
主任

山下 莉香
(山梨市)

令和5年4月より、山梨市から研修生として総務部市町村課税政担当にお世話になっております。4月当初は、緊張と慣れない環境で戸惑うこともありましたが、早いもので1年間の研修期間も大半を終え、残りあとわずかとなりました。

業務では主に、固定資産税の償却資産や市町村課税状況調査、ふるさと納税関係の取りまとめ等を担当しております。これまで税政関係の業務に携わったことがなく、減収補てんの検収業務や固定資産税概要調書をはじめとする国からの照会に対する取りまとめや、市町村からの難解な問い合わせへの対応に、知識の無さや制度の複雑さから苦戦することが多々ありました。丁寧に説明くださった前任の方や経験豊富な税政担当の皆さまにご協力いただく中で今日まで乗り越えることができました。

担当業務以外では、交付税の算定作業や普通交付税検査など市町村職員では経験できないような業務にも携わらせていただき、県としての視点・考え方を勉強することができました。残された研修期間につきましても、この先の業務に活かせるよう、より多くのことを経験し、県職員の方々や市町村研修生とのつながりを大切にしながら業務に励んでいきたいと思っております。

最後になりますが、日々ご指導くださいます市町村課の皆さま、各種調査等の照会に迅速にご対応いただいている市町村担当者の皆さま、また厳しい人員の中、このような経験を積む機会を与えてくださった山梨市役所の皆さまに、心より感謝申し上げます。



市町村課
主事

高野 翔太
(南アルプス市)

令和5年4月より、南アルプス市からの研修生として市町村課にお世話になっております。

配属当初は、慣れない環境や業務に戸惑う毎日でしたが、周囲の皆様の温かいご指導やサポートのおかげで、少しずつ仕事にも慣れ、今では充実した日々を過ごしております。

私は財政担当として、地方債（水道事業債・災害復旧事業債・臨時財政対策債）、地方公営企業決算状況調査（上水道・簡易水道事業）のほか、地方公共団体金融機構に関する業務を担当させていただいております。

財政や水道事業に関する業務経験がなかったため、日々新しいことを学びながら、業務と向き合いました。市町村の皆様からの問い合わせに対応する際には、自分の知識不足を感じましたが、法令集や関係書籍を読み込み、なんとか業務を進めて参りました。また、県という今までとは異なる立場で業務を行う中で、国の動向や県内外の自治体の状況に目を向ける機会となり、広い視野を持つことの大切さを改めて感じました。

残りわずかな研修期間となりましたが、少しでも多くの知識を吸収していくとともに、人とのつながりを大切に、このような貴重な経験を今後も活かせるよう、業務に励んでいきたいと思っております。

このような経験をさせていただけていることは、日頃から温かくご指導くださる市町村課の皆様、照会等に迅速にご対応いただいている市町村・企業団の皆様、そして、私を研修生として送り出してくださった南アルプス市職員のご理解・ご尽力があるからこそだと思っております。この場をお借りして心から感謝申し上げます。



都留市 産業建設部 建設課 道路河川担当
主事

高野 恵輔

Keisuke Takano



私は、令和4年度に都留市の職員として採用され、建設課道路河川担当に配属となりました。業務内容は、新たな道路・水路の計画・設計から工事・監督などの施工管理、市の道路や水路の維持管理など、都留市全体のインフラを幅広く支える仕事をしています。

私は都留市で生まれ育ち、現在まで過ごしてきましたが、職員となった今でも新たな気づきと学びに溢れ、懸命に日々業務にあたっています。特に、市民の皆様のご要望一つ一つに親身に耳を傾け、課・担当の垣根を越えてコミュニケーションをとりながら、適切な整備にあたっている先輩方の姿からたくさんのことを学ばせていただき、私も、一人で業務を遂行するのではなく、市民の皆様のために市役所全体で連携し遂行できるよう心がけています。

現在担当しているインフラ整備事業分野は、自らの業務が市民生活の向上として視覚的にわかりやすく生活に反映される分野です。これからも市民の皆様のために、日々研鑽を積み重ね、より一層まちづくりに貢献していけるよう精進していきたいと思います。

市町村職員



甲斐市 市民部 市民戸籍課 住民記録係
主事

杉田 穂多瑠

Hotaru Sugita



私は令和5年4月に甲斐市職員に採用され、市民部市民戸籍課に配属されました。

主に住所異動や印鑑登録などの窓口業務を担う本課は、市役所の入口から最も近く、市民の皆様にとって最も身近な窓口です。窓口や電話応対の際には、「窓口は市役所の顔!」という気持ちで挨拶することを心掛けています。

また、入庁してから半年が経ち、窓口業務の難しさも感じています。窓口を訪れる皆さんには様々な理由や不安があり、一人ひとりの気持ちに寄り添った対応が必要であると感じたからです。以前、対応した方が、「市役所の手続きは難しそうだから来るのをためらってしまった」と話されていました。窓口では、手続内容や書類の記入方法を分かりやすく伝えることも大切ですが、その先にある不安をくみ取り、一人ひとりに適したコミュニケーションを図れるよう学んでいきたいです。

甲斐市役所が、誰もが安心して来ていただける優しい場所であるよう、まずは笑顔で明るくお迎えます!



富士川町教育委員会 教育総務課 総務学校担当
主事

葉袋 成和

Seiwa Minai



私は令和5年4月に富士川町の職員として採用され、教育総務課総務学校担当に配属されました。業務内容は、学校施設の管理や学校関係予算の執行管理等、教育に関わる調査及び統計に関する業務に携わっています。

学校施設の管理では、安全・安心な学校環境を整えるために、上司とともに修繕箇所の確認を行い修繕の対応を行っています。また、補助金の交付決定事業や調査では、財務処理や最新の教育現場の状況把握を行うという点で正確性が求められており、責任感を持ち業務にあたっています。加えて、業務全体を通して教育現場の方々と関わる機会が多いため、日々の業務に対して新鮮さを感じています。

初年度ということで、まだまだ至らない点が多く、上司や先輩方の助けをいただくことも多いですが、各教育関係機関とも連携をしながら、満足度の高い教育環境づくりに努めていきたいと思えます。そして、今後も様々な経験を重ね、富士川町の発展にも貢献できるような職員を目指して、日々努力していきたいです。



昭和町教育委員会 生涯学習課 町立図書館 司書
主事

齊藤 千遥

Chiharu Saito



私は令和4年4月に昭和町役場の職員として採用され、町立図書館に配属となりました。現在は、主に図書館カウンターでの本の貸出・返却やレファレンスサービス、図書館資料の選書や購入・受入業務、おはなし会などのイベント運営などを担当しています。

図書館の仕事というとカウンター対応が主であるという印象がありますが、利用者の方からの質問に対する図書・資料のご案内や、育児学級に向き絵本の配布や読書案内を行うなど、業務は多岐にわたります。読書活動を通じて、赤ちゃんから高齢者まで幅広い年代の方に本の魅力を伝えることのできる業務に、とてもやりがいを感じています。

まだまだ知識も経験も未熟で、日々自分の力不足を痛感するばかりですが、上司や先輩方にご指導いただきながら、町民の皆さんにとって図書館がより身近な存在となるよう業務を行っています。町民の生涯学習の拠点となる“図書館”。その中で町内唯一の正規職員の司書という自覚と責任を持ち、生まれ育った昭和町に少しでも貢献できるよう頑張っていきたいと思えます。

市町村振興協会たより

令和5年度市町村振興宝くじ発売状況及び市町村への交付金について

今号の振興協会たよりでは、本協会の基金として市町村振興に活用しているサマージャンボ宝くじ及び全額を市町村へ交付しているハロウィンジャンボ宝くじの令和5年度販売実績と、8月及び9月発売回号の収益金が市町村振興分として配分されている、インターネット専用全国自治宝くじ「クイックワン」の発売状況等について報告します。

1 サマージャンボ宝くじ、ハロウィンジャンボ宝くじ及びクイックワンの販売実績と収益金配分額

令和5年度のサマージャンボ宝くじ、ハロウィンジャンボ宝くじ及びクイックワン8月・9月発売回号の販売実績については、次のとおり前年度を上回る結果となりました。

販売実績額から当せん金や広報費等のコストを差し引いた収益金の本県への配分額は、サマージャンボ及びクイックワン8月発売回号は増加しましたが、ハロウィンジャンボ及びクイックワン9月発売回号は、コストが増加したことにより、収益金配分額が減少しました。

なお、クイックワンの収益金については、8月発売回号は、サマージャンボ宝くじ収益金同様に、本協会の基金に積立し、市町村振興に活用することとされ、また、9月発売回号はハロウィンジャンボ宝くじ収益金同様に、全額市町村へ交付します。

サマージャンボ宝くじ

- ①販売実績 全国 約707億円 (前年度比 6.12%増)
山梨県 約5億11百万円(前年度比10.04%増)
- ②山梨県収益金 289,968,664円 (前年度比 5.10%増)
〔内訳: R5確定配分額 272,618,409円〕
R4時効金配分額 17,350,255円〕

ハロウィンジャンボ宝くじ

- ①販売実績 全国 約373億円 (前年度比0.44%増)
山梨県 約2億80百万円(前年度比2.33%増)
- ②山梨県収益金 151,317,829円 (前年度比4.74%減)
〔内訳: R5確定配分額 145,258,039円〕
R4時効金配分額 6,059,790円〕

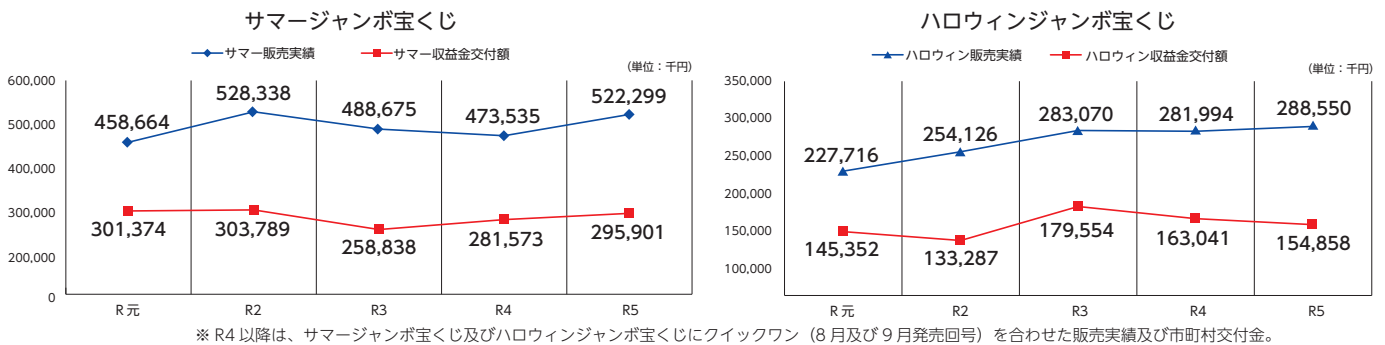
クイックワン 8月発売回号 (サマージャンボ分)

- ①販売実績 全国 約16億円 (前年度比15.01%増)
山梨県 約1,145万円 (前年度比23.03%増)
- ②山梨県交付金 5,932,255円 (前年度比 4.53%増)
・全国協会納付額(交付金の10%) 593,224円
・協会基金積立額(交付金の90%) 5,339,031円

クイックワン 9月発売回号 (ハロウィンジャンボ分)

- ①販売実績 全国 約12億円 (前年度比 7.28%増)
山梨県 約805万円 (前年度比 2.26%増)
- ②山梨県交付金 3,540,096円 (前年度比15.52%増)
※市町村へ交付

山梨県の販売実績及び収益金交付額推移



2 市町村交付金について

令和5年度ハロウィンジャンボ宝くじ及びクイックワン(9月発売回号)を合わせた市町村への交付額は、154,861千円となりました。

ハロウィンジャンボ宝くじ及びクイックワン(9月発売回号)は、販売実績額は前年度を上回りましたが、当せん金や広報費、インターネット販売に係るシステム料等、コストが増加したことにより収益金が減少し、市町村への交付額は、前年度を8,187千円下回る結果となりました。

なお、市町村への交付に当たっては、均等割40%、人口割60%の配分基準により交付しています。

令和6年度

サマージャンボ宝くじ

発売期間 7月 8日(月) ~ 8月 8日(木)

ハロウィンジャンボ宝くじ

発売期間 9月17日(火) ~ 10月17日(木)



望月 誠さん

Makoto Mochizuki
(山梨市 健康増進課 健康企画担当
課長補佐)

「訪問診療車導入による在宅医療の強化」



山梨市立牧丘病院は、24時間往診が可能な体制を確保し、必要に応じた医療や看護が提供できる「機能強化型在宅療養支援病院」として、年間5,000件以上の訪問診療を実施し、山梨市のみならず関東地域の在宅医療や地域包括ケアにとって重要な拠点となっています。

しかしながら、2024年から施行される改正医療法による「医師の働き方改革」等により、医療従事者の従事環境の整備と医療資源の最適化・効率化を実現することが課題となっています。

そのため本市では、デジタル田園都市国家構想交付金を受け、オンライン診療の機能を持つ訪問診療車を令和6年3月に導入し「医師の働き方改革」に対応しながら地域包括ケアシステムの深化を目指す取り組みを始めます。これにより高齢や障害等により自力での移動が難しい市民やオンライン診療に必要な機器を持たない市民であっても、適切な医療を提供できるようになります。

本市が掲げる「おなかの中から一生涯安心の山梨市」を目指し、市民の健康と笑顔を守るため、市立牧丘病院の在宅医療を継続充実させる一助となれるよう、邁進していききたいと思います。

AFTER NOTES

編集後記

今回の特集は、人口減少危機突破に向けた県の取り組みを紹介するとともに、臨時トピックスとして「多様性を認め合う共生社会の実現に向けて」及び「救急安心センターやまなし(#7119)」の取り組みを掲載しました。

また、協会たよりでは、令和5年度のサマージャンボ宝くじ、ハロウィンジャンボ宝くじ及びクイックワンの販売状況等について報告いたしましたが、宝くじの販売促進について、引き続き皆様のご理解、ご協力をお願いします。

最後に、特集をはじめ各コーナー等本号の発行にあたり、ご多忙の中執筆いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

市町村職員情報誌「やまなし自治の風」編集委員会

役職名	団体名	補職名	氏名
委員長	山梨県市長会	事務局長	村松 広幸
副委員長	道志村	ふるさと振興課主任	中込 泰
委員	甲府市	企画財務部総務課主任	小池賢太郎
	大月市	企画財政課主事補	紫村 亮斗
	韮崎市	総合政策課主任	伏見 美穂
	南アルプス市	政策推進課主事	塩澤 宏紀
	上野原市	政策秘書課主任	須藤 桂伍
	市川三郷町	政策推進課主幹	笠井 悟
	昭和町	総務課主任	渡辺 晃次
	忍野村	総務課主任	望月 景子
	丹波山村	地方創生推進室主事	矢崎 澄香
	山梨県	市町村課主任	内藤早希子
山梨県町村会	振興課主事	小川 将毅	

宝くじ
公式サイト

すぐ買える 当たりがわかる クイックワン

Quick One

クイックワン



お問い合わせ先

宝くじコールセンター

TEL:0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料)

TEL:011-330-0777 (有料)

公益財団法人 山梨県市町村振興協会

インターネット専用全国自治宝くじ「クイックワン」が発売されています。

この宝くじは、宝くじ公式サイト限定での発売で、1年間通して購入することができます。

このうち、8月と9月に発売される「クイックワン」の収益金が、市町村振興分として配分されています。

8月発売回号の収益金

サマージャンボ分として配分され、市町村振興協会の基金に積立て、市町村振興事業に活用されています。

9月発売回号の収益金

ハロウィンジャンボ分として配分され、市町村振興協会を通じて全額市町村に交付されています。

やまなし

自治の風

Vol.55

令和6年3月発行第55号
発行/公益財団法人 山梨県市町村振興協会 〒400-8587
編集/市町村職員情報誌「やまなし自治の風」編集委員会

甲府市蓬沢1丁目15-35 TEL:055-237-3153 yamanashi@ympa.or.jp

ミックス
FSC
www.fsc.org
FSC® C0029103
第三者認証を受けています
管理原料から作られています。